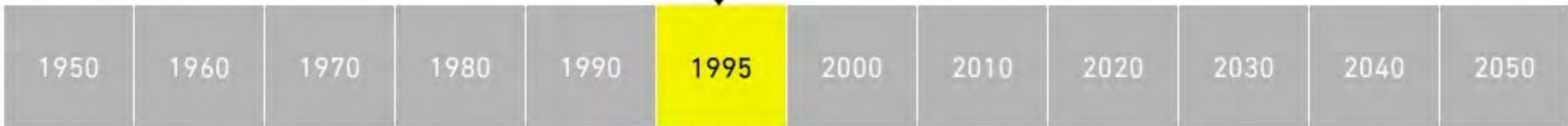
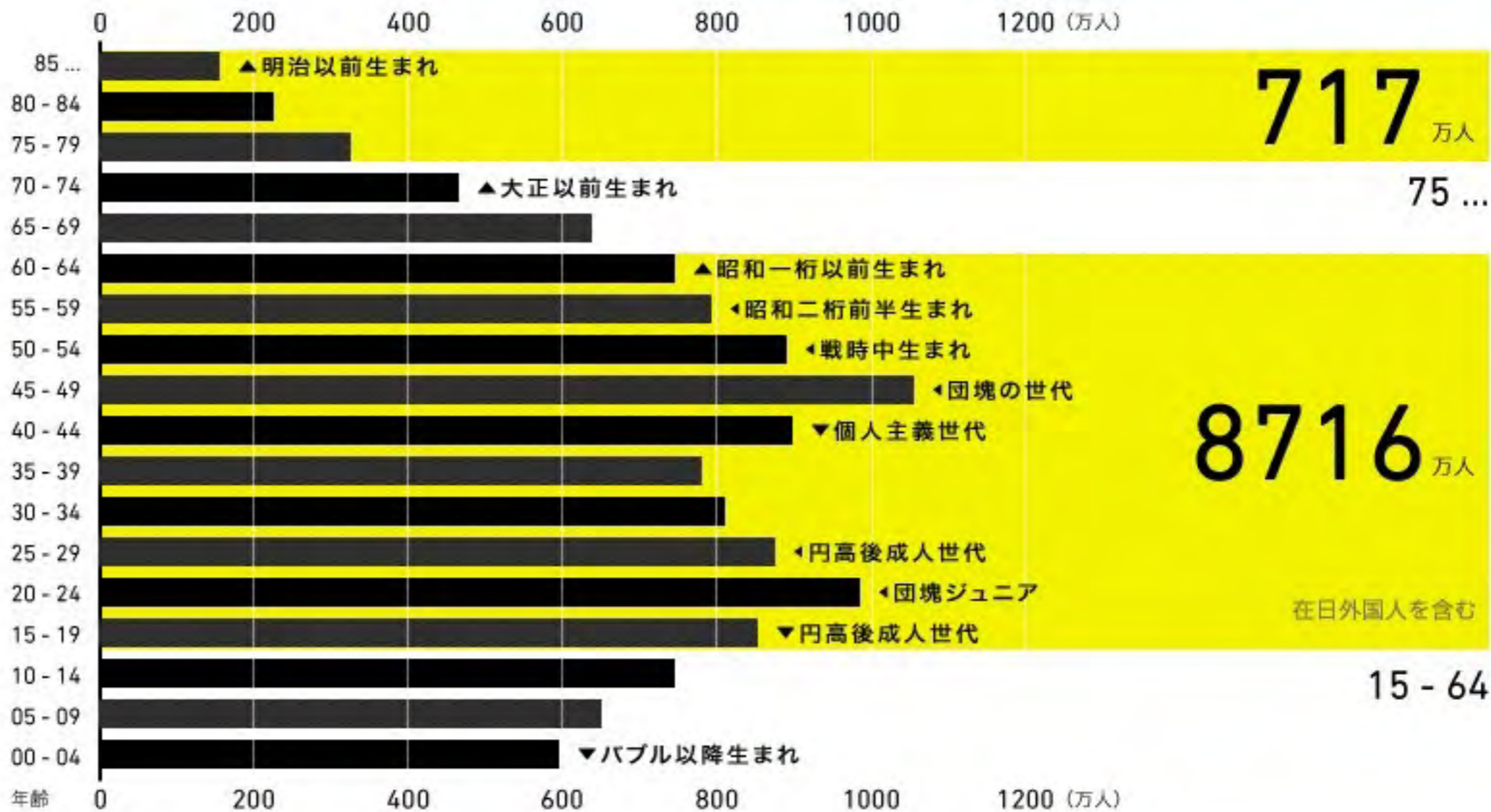


# 日本の人口推移

1995

阪神大震災の頃

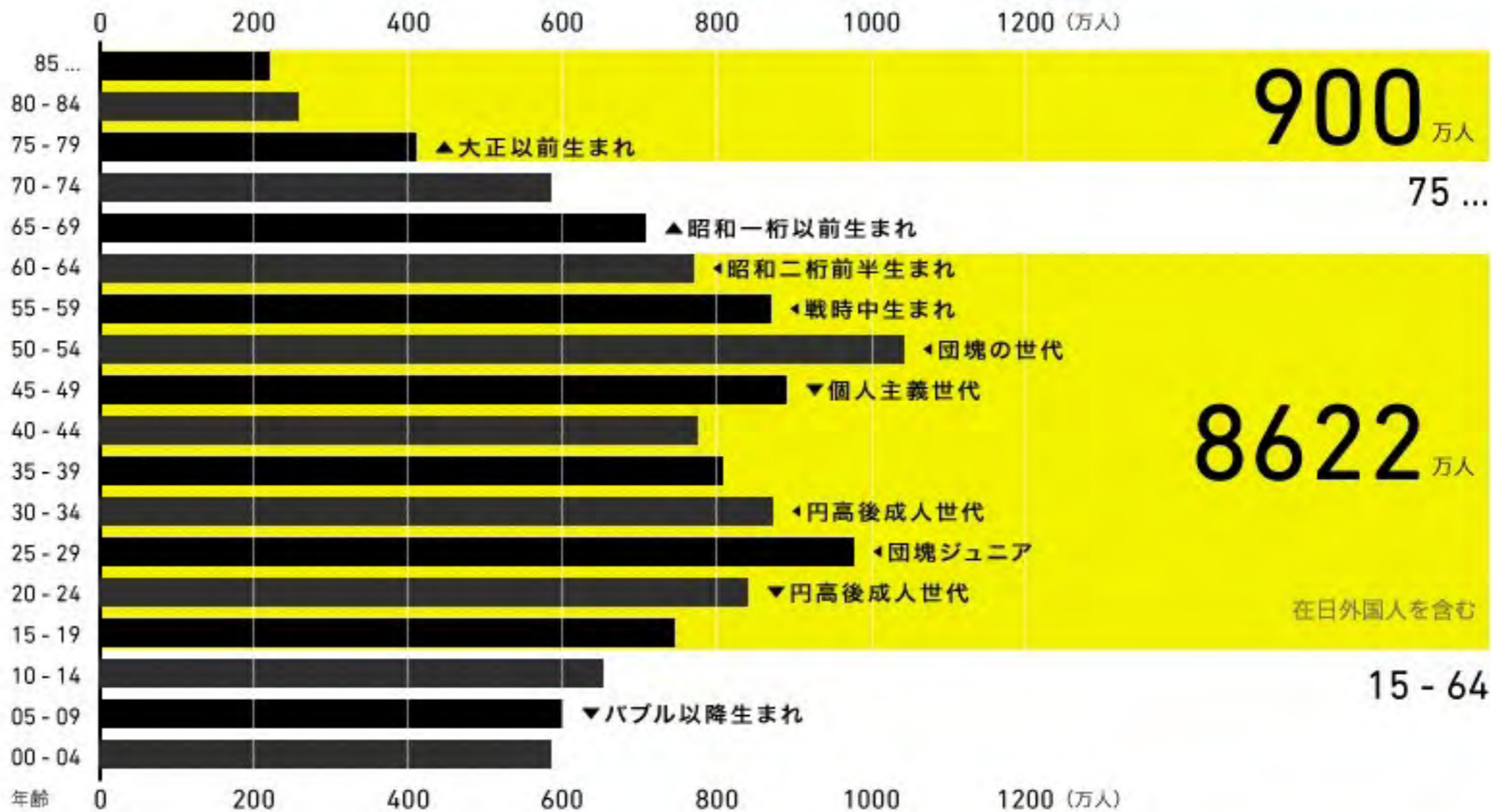


グラフデータ：ツタグラ 藤谷氏セッション資料  
出典：国勢調査

# 日本の人口推移

2000

2000年問題の頃

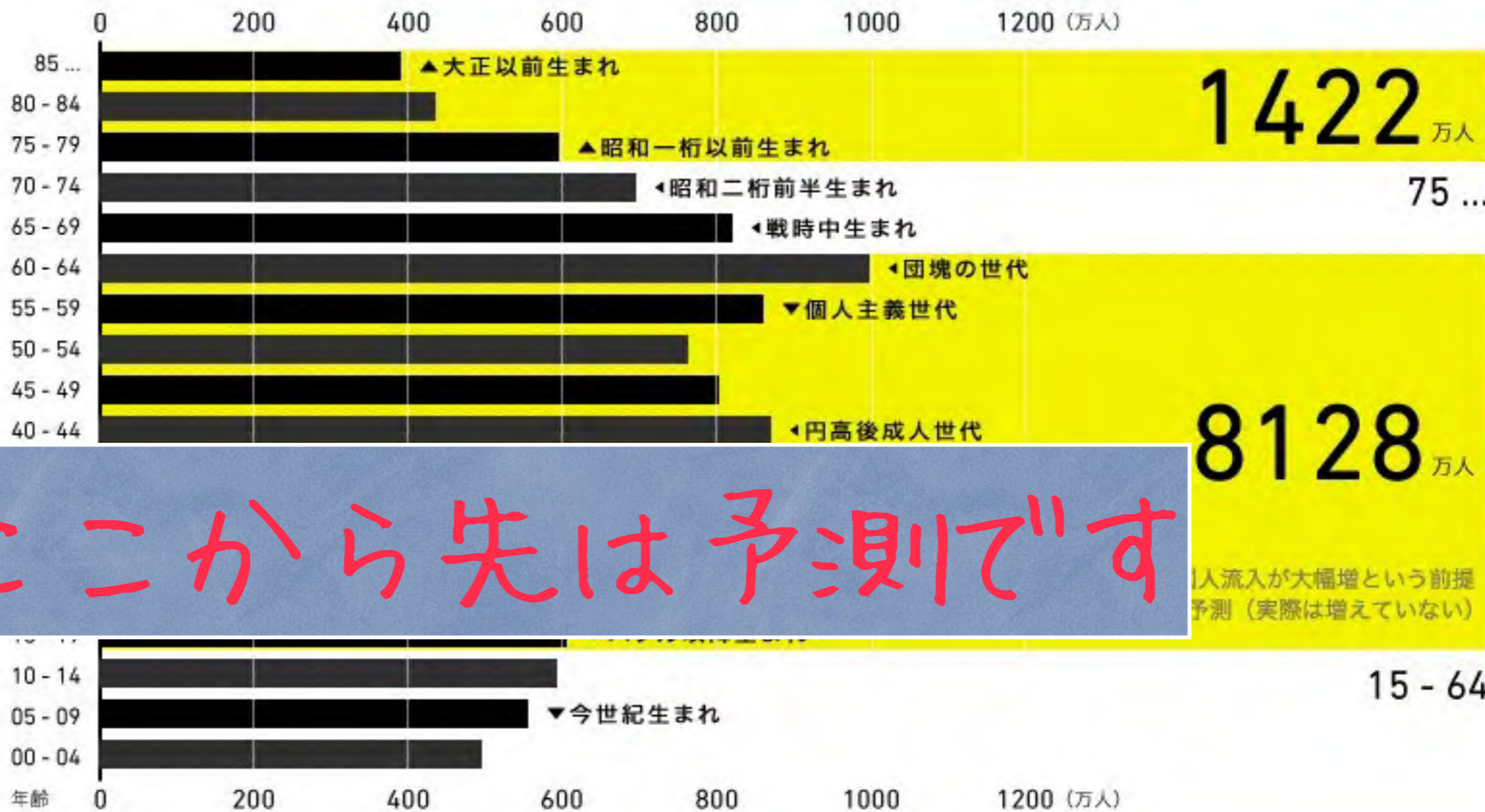


グラフデータ：ツタグラ 藤谷氏セッション資料  
出典：国勢調査

# 日本の人口推移

2010

現在



ここから先は予測です

外国人流入が大幅増という前提予測 (実際は増えていない)

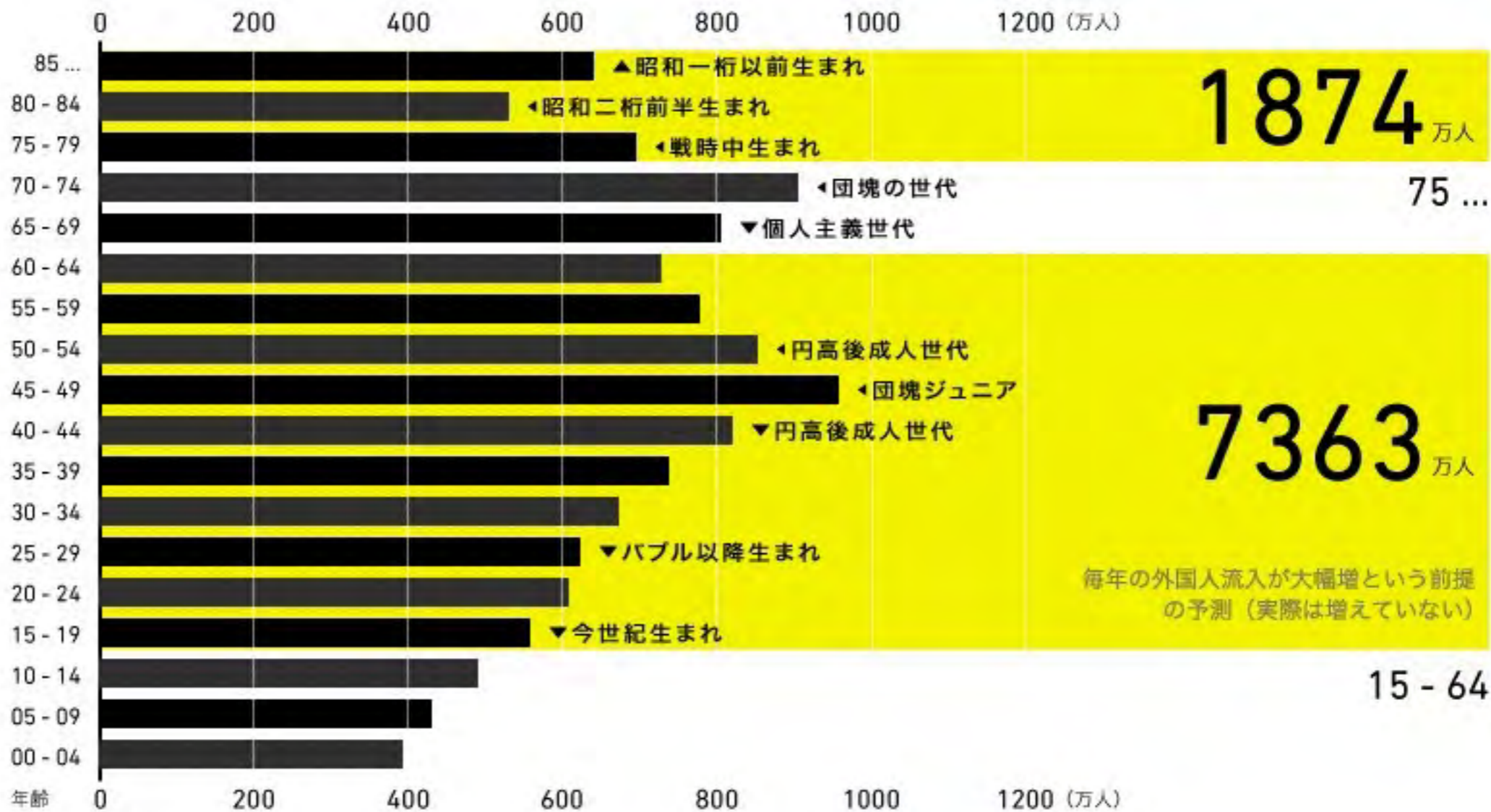


グラフデータ：ツタグラ 薬谷氏セッション資料  
 出典：国立社会保障・人口問題研究所中位推計 (2006年改訂)

# 日本の人口推移

2020

10年後の未来

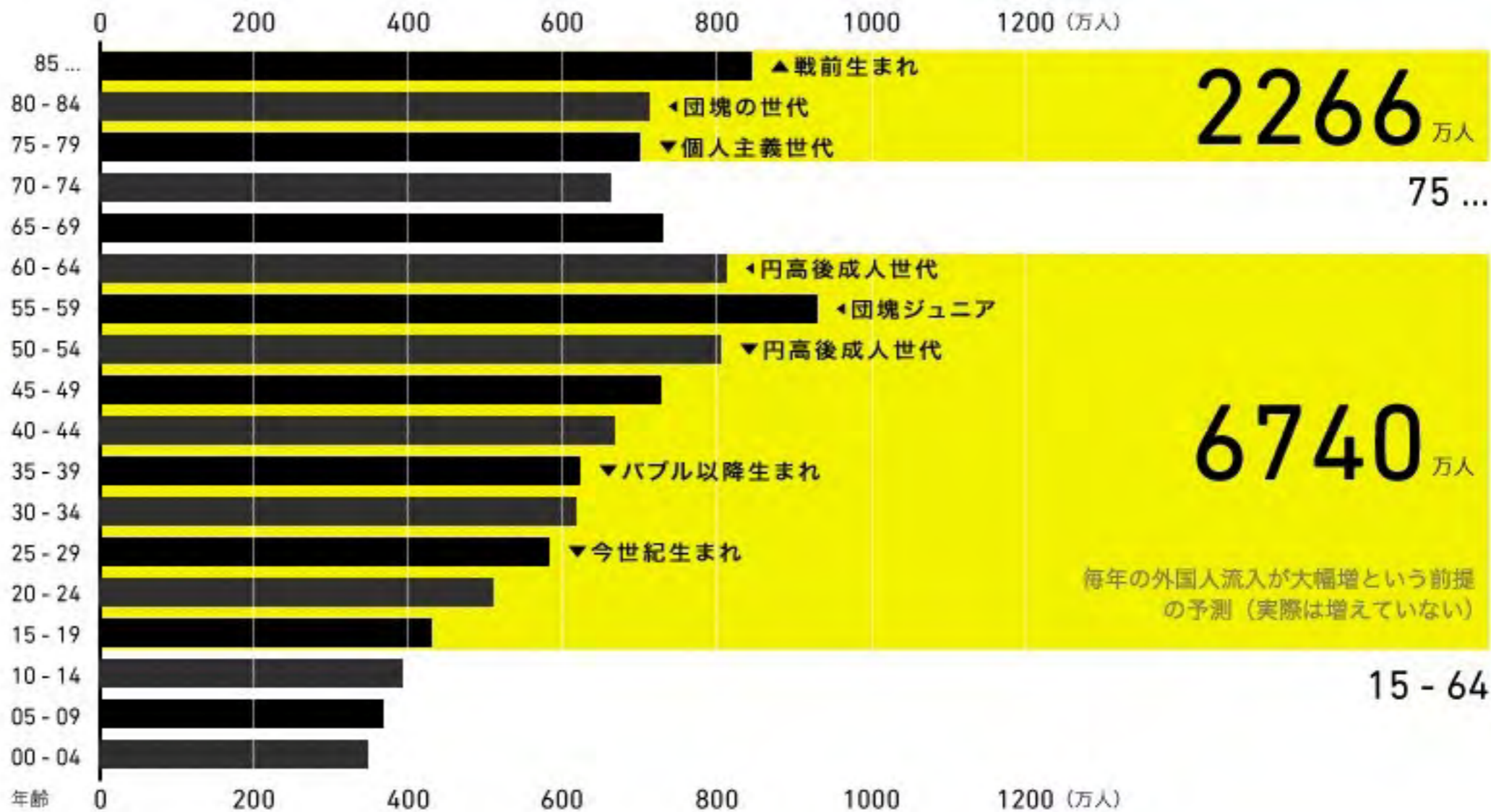


グラフデータ：ツタグラ 薬谷氏セッション資料  
 出典：国立社会保障・人口問題研究所中位推計（2006年改訂）

# 日本の人口推移

2030

20年後の未来

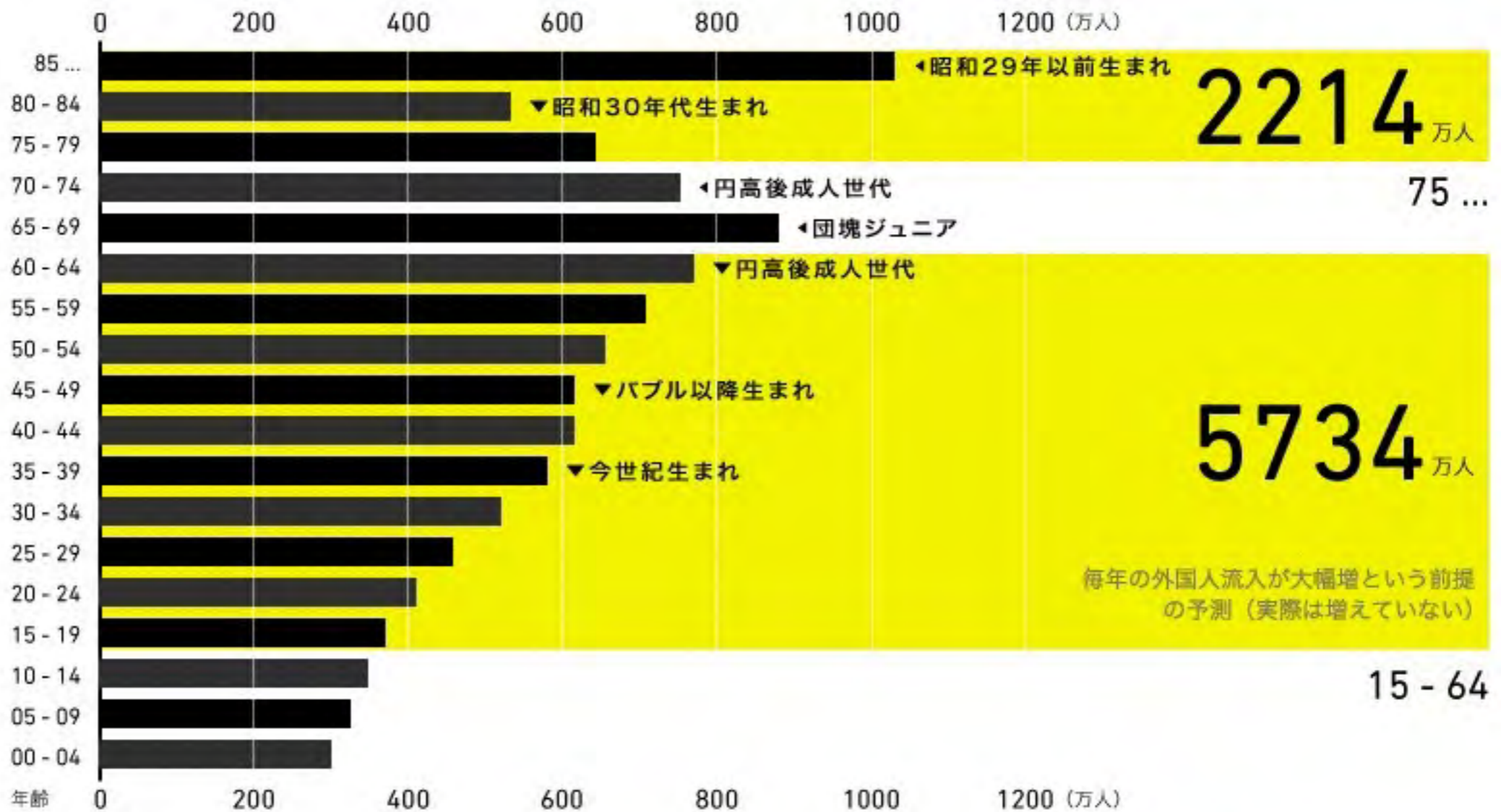


グラフデータ：ツタグラ 薬谷氏セッション資料  
 出典：国立社会保障・人口問題研究所中位推計（2006年改訂）

# 日本の人口推移

2040

30年後の未来

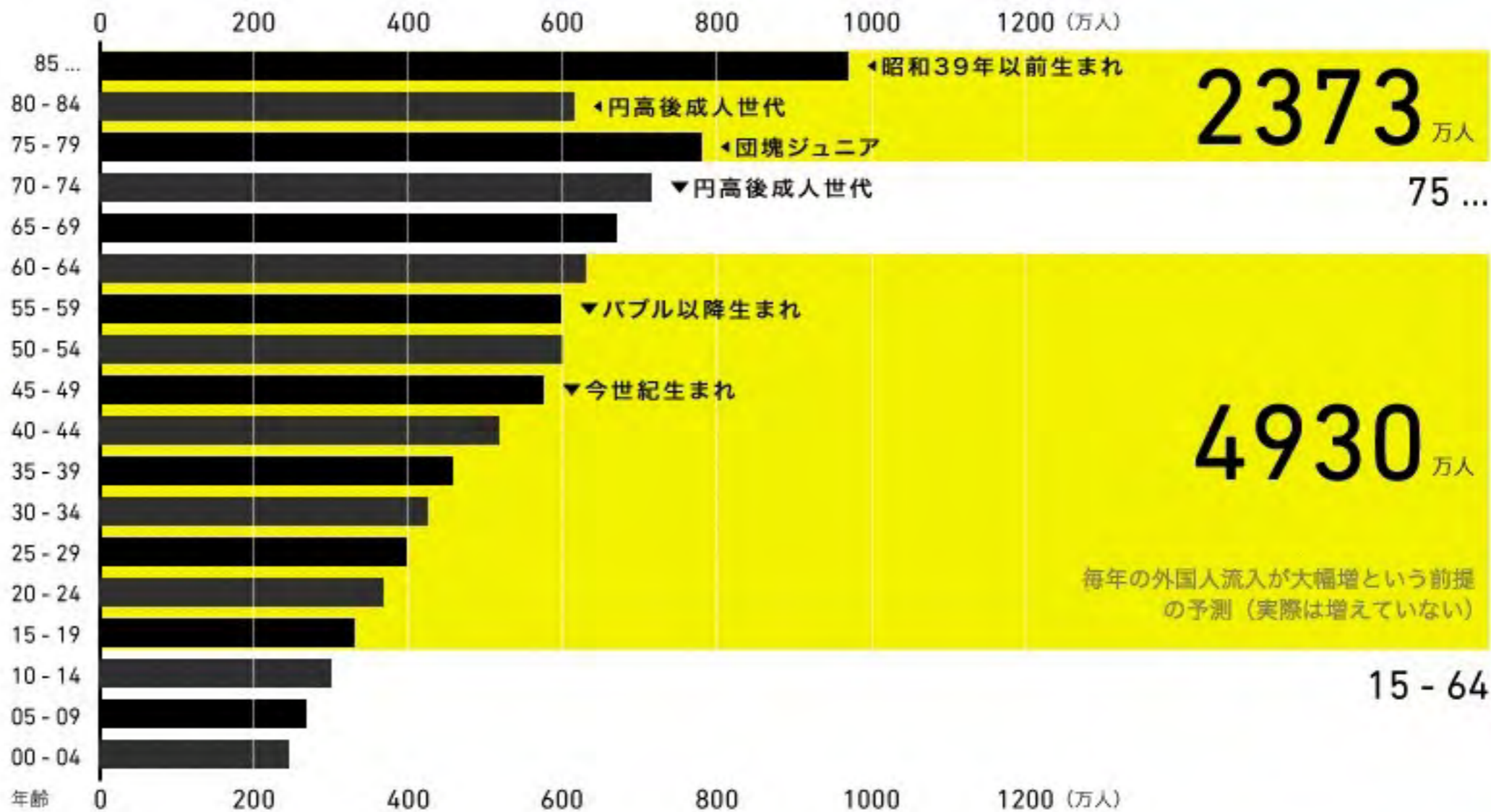


グラフデータ: ツタグラ 薬谷氏セッション資料  
 出典: 国立社会保障・人口問題研究所中位推計 (2006年改訂)

# 日本の人口推移

2050

40年後の未来

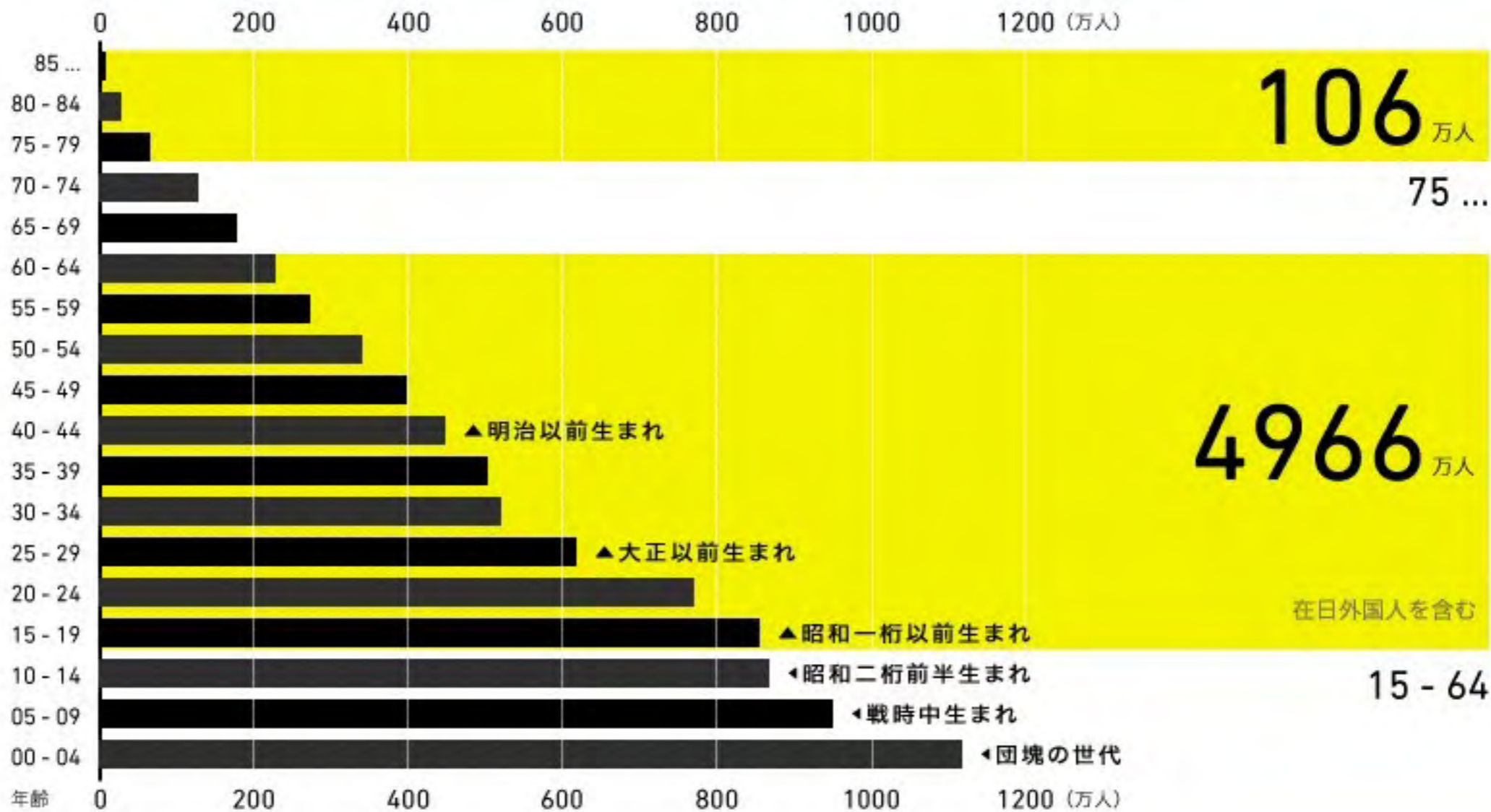


グラフデータ：ツタグラ 薬谷氏セッション資料  
 出典：国立社会保障・人口問題研究所中位推計（2006年改訂）

# 日本の人口推移

1950

戦後復興の頃



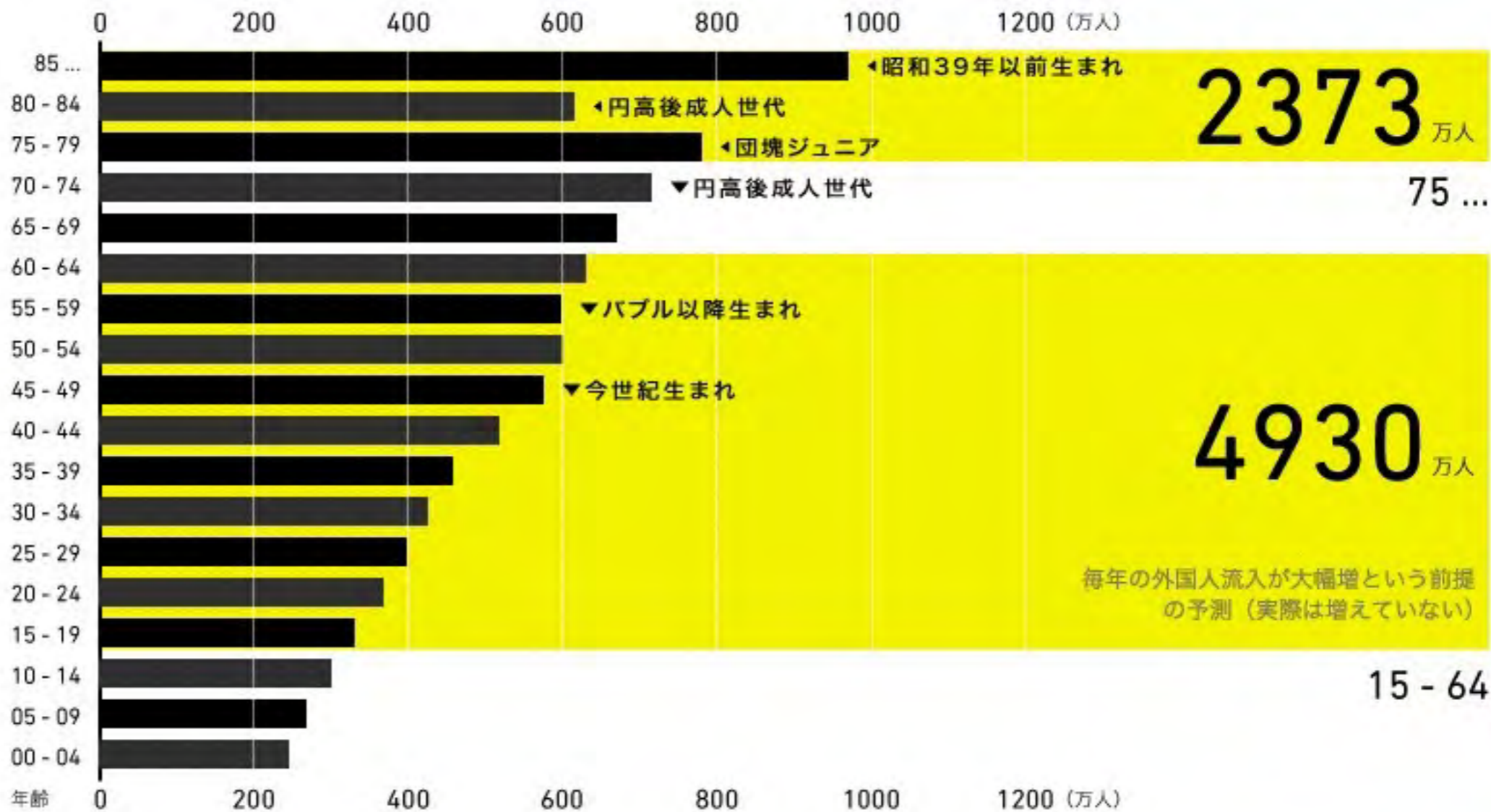
グラフデータ：ツタグラ 藤谷氏セッション資料  
出典：国勢調査



# 日本の人口推移

2050

40年後の未来

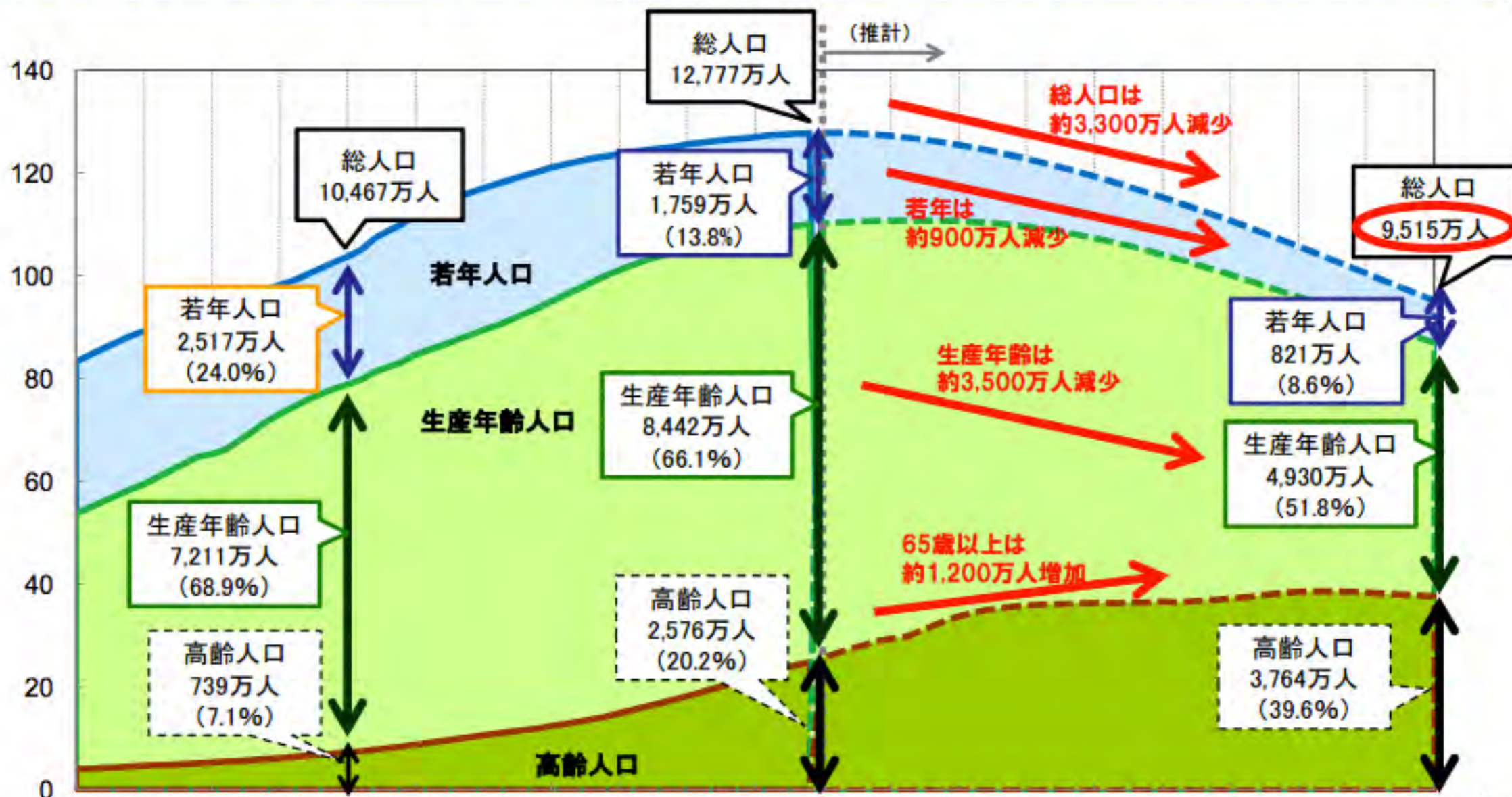


グラフデータ：ツタグラ 薬谷氏セッション資料  
 出典：国立社会保障・人口問題研究所中位推計（2006年改訂）

もう少し詳しくみてみましょう

人口減少について知る

○日本の総人口は、2050年には、9,515万人と約3,300万人減少(約25.5%減少)。  
 ○65歳以上人口は約1,200万人増加するのに対し、生産年齢人口(15-64歳)は約3,500万人、若年人口(0-14歳)は約900万人減少する。その結果、高齢化率で見ればおよそ20%から40%へと高まる。



1950 1955 1960 1965 1970 1975 1980 1985 1990 1995 2000 2005 2010 2015 2020 2025 2030 2035 2040 2045 2050 (年)

(出典) 総務省「国勢調査報告」、同「人口推計年報」、国立社会保障・人口問題研究所「日本の将来推計人口(平成18年12月推計)」における出生中位(死亡中位)推計をもとに、国土交通省国土計画局作成

(注1) 「生産年齢人口」は15~64歳の者の人口、「高齢人口」は65歳以上の者の人口  
 (注2) ( )内は若年人口、生産年齢人口、高齢人口がそれぞれ総人口のうち占める割合  
 (注3) 2005年は、年齢不詳の人口を各歳別に按分して含めている

## 1950年~2050年の人口推移